

一般質問 市政を問う

一般質問は、質問、答弁とも要旨を掲載しています。

14議員が質問

- P9** **松井美津子議員**
市民が納得する行政を
木村 功議員
自治体としての役割を果たしているか
- P10** **江副 一男議員**
健全財政を貫くためには
村上 浩一議員
滞納に断固たる姿勢で
- P11** **青木 伸一議員**
合志市の財政は本当に大丈夫なのか
光木 寿一郎議員
高齢者の孤独死について
- P12** **丸内 三千代議員**
教育委員の執務室設置について
下川 カズエ議員
悪質商法から高齢者等を守る取り組みは
- P13** **神田 公司議員**
公共交通政策について
来海 恵子議員
合志市の将来は大丈夫？
- P14** **今村 直登議員**
合併後一年の評価について
田端 眞知子議員
庁舎のあり方について
- P15** **坂本 武人議員**
合併評価、財政基準で市民に説明を
五嶋 輝行議員
行財政改革について

市民が納得する行政を



松井美津子 議員

松井 市長は、多くの権力を公平、公正に市民の幸福のためにいただけますか。
市長 公平、公正に民主主義の理念に基づき取り組んでおります。

市長の退職金見直しは

松井 限られた財源の中で徹底してムタを省く行政改革の断行が必要です。「庶民感覚からみて高すぎる」と批判がある地方自治体の首長の退職金制度の廃止、縮減の動きがある。一期4年で数千万といわれているが、市長は見直す考えはないか。
市長 熊本県市町村退職手当組合に加入しており、

統一した条例で運用がされています。私自身で廃止縮減を図れるものではありません。

妊婦無料健診を5回に

松井 国の少子化対策に充てる地方交付税の配分額が増えられている。妊婦の無料健診の回数を5回程度に増やす取り組みをしたらどうか。

健康福祉部長 妊婦健診の公費負担は、一般健診2回、精密検査1回、35歳以上の方に超音波検査1回を実施しており、19年度は前年同様で進め、20年度で検討します。

テレワークの導入を

松井 少子高齢化対策の一環として、育児や介護と仕事の両立を可能にする*テレワークの導入を

進めたらどうか。

健康福祉部長 国のシステム構築の動向を注視し、市としても対応していきたい。

*テレワーク
企業のコンピューターを家庭の端末装置と結んで行う在宅勤務

就職支援のために相談所の開設を

松井 ひとり親家庭や子育て中の就職を支援するために各種セミナー、パソコン教室の開催、情報を提供できる相談場所を設置したらどうか。

健康福祉部長 熊本県では、母子家庭等の就業、自立を支援するセンターが熊本市の総合福祉センターに設置されています。本市としても県の事業の紹介やハローワークとの連携などにより、情報提供に努めます。

自治体としての役割を果たしているか



木村 功 議員

木村 地方自治体の本来の役割は、地方自治法第1条の2にあるように「住民の福祉の向上を図る」ことです。合志市では、この自治体の役割を果たしているとお考えですか。
市長 いろいろな客観情勢があり、完全にできていないとは思っていないが目標に向かって精一杯努力しています。

福祉向上に真剣に取り組んでいるか

木村 私たちが昨年末から市民の皆さんにお願いしてきたアンケートに寄せられた、市政への願いの1番は「国民健康保険の引き下げ」、2番は「介護保険料・利用料の減免」、3番は「医療費の引き下げ」でした。

その他に、次のような切実な声が寄せられています。「子どもの年金で暮らしていますが、生活が苦しくて、借金しないと生きていけません」将来を考えるとノイローゼ

になりそうです。希望が持てません」「長生きしたくありません」行政は市民の暮らしを守るために、福祉の向上を真剣に取り組むべきではないか。
市長 国が制度として定め、それに沿って運営しています。近隣市町村と比べても、税率その他高くない状況です。市独自の減免等は全体的な財政状況から取り留めません。

